

二液混合型透明ウレア樹脂による表面保護工法 VUE(ビュー)ガード工法



VUEガード工法は、二液混合型ウレア樹脂による表面保護工法です。伸縮性能に優れたポリウレア樹脂を使用することで、構造物の挙動に追従する機能を有し、塗膜を透明にすることで既設構造物の『可視化』が可能となりました。水の浸入や劣化因子を遮断することで、長期的なコンクリート保護効果が期待でき、かつ可視化による補修後構造物の経年変化を目視にて確認することが可能です。

VUEガード工法の特性

- ① ポリウレア樹脂による塗膜は、伸び性能に優れており、ひび割れに追従します。
- ② 塗膜が透明なため、補修後構造物のモニタリング調査を目視で行うことができ、継続的な維持管理が可能です。
- ③ 塩害や中性化、凍害等からコンクリートを保護します。(道路橋の塩害指針(案)・同解説 B種 適合)
- ④ 表面被覆材(HS-clear)は無溶剤のため、臭気の問題も少なく、環境に優しい安全な材料です。
- ⑤ 従来工法に比べ、少ない工程で塗膜を施工することができるため、工期短縮が可能です。(標準塗膜厚:0.4mm)
- ⑥ 施工には特殊な機械や設備を使用しないため、施工性に優れます。

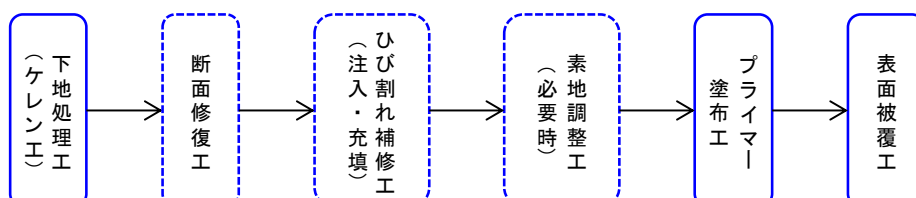
VUEガード工法の物性

物性値一覧

項 目	特性値	項 目	特性値
塗膜の外観	塗膜は均一で、流れ・むら・われ・はがれがない	しゃ塩性	定量下限値: $0.7 \times 10^{-3} \text{mg/cm}^2 \cdot \text{日}$ 以下
耐候性	白亜化はほとんど無く、塗膜にわれ、はがれがない	耐アルカリ性	塗膜にふくれ・われ・はがれ・軟化・溶出がない
コンクリートとの付着性	25/25	ひび割れ追従性	191%

※上記の値は、試験結果の代表値であり、品質保証値および規格値ではありません。

VUEガード工法 施工フロー



橋梁補修工施工例



① 下地処理工(ケレン工)



② プライマー塗布工



③ 材料攪拌状況



④ 表面被覆工(床版下面)



⑤ 表面被覆工(地覆)



⑥ 施工完了

この内容は2026年6月現在のものです

(事務局)

ベルテクス株式会社

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-1

TEL : (03)3556-2804 FAX : (03)3263-2005

URL : <https://www.infra-mainte.jp>

インフラ保全技術協会

Association of Maintenance Technology for Infrastructure